

指導者・保護者向け セミナー



★ 講師のご紹介：小林マヤ ★



アメリカ言語聴覚協会 (ASHA) 認定
スピーチ・セラピスト、言語学博士、
言語聴覚士。

ボストンの大学院を卒業し、その後
現地の公立学校でスピーチ・セラピスト
として勤務した後、日本に帰国。

それ以来、研究活動をしながら、
通級指導教室の教員向け、小児の
言語聴覚士向けに数々の研修・
スーパービジョンを行ってきた。



ご質問・お問い合わせ先
tokyogengo@proton.me



<https://dongjingyanyuyanjiusuo.webnode.jp/>



日程

2026年 **5月31日** (日)



時間

受付：12:45～

1 13:00～14:30

『Predictive Brain で理解する ASD—
言語・感覚・行動を「予測」でつなぐ支援—』



自閉症支援の第一人者ピーター・ヴェルムーレンの
Predictive Brain で ASD を読み解く最新研修。
言語・感覚・行動のつまずきを「予測」の観点から整理し、
支援方法を実践的に学びます。文脈理解が難しい子ども
への支援をアップデートしたい保護者・支援者に最適。

受付：14:35～

2 14:45～16:15

『Predictive Brain で読みを深める：
文脈から予測する読解支援』



Predictive Brain の視点から、読解のつまずきを
「文脈」と「予測」で読み解く実践研修。
語彙・文脈・推論をどうつなげて読みを深めるか、
家庭と指導現場で使える支援法を具体的に学びます。

①も②もセミナーの冒頭で前回までの復習が入っています。

¥ 参加費

・それぞれ1セミナーのみ： **3,000円**
・①と②の両方： **5,000円**



申込締め切りは **2026年 5月28日(木)**



申込方法は **2通り** ①以下の QR コードから

②以下の 1.～6. をご記入され tokyogengo@proton.me へメールしてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 名前 | ④ ご所属先 (保護者の方は、保護者) |
| ② フリガナ | ⑤ 参加される研修 |
| ③ ご職業 (保護者の方は、保護者) | ⑥ 領収書を必要とする方は宛先 |



2026年
5月28日(木)までに
申し込む方は**こちら!**



★ 会場のご案内 ★

ふれあい会議室 No 25

〒160-0023
東京都新宿区西新宿
1-19-2 第1セイコービル 5階

新宿駅南口から
徒歩 **2分!**

5番出口の
目の前



ふれあい貸し会議室 新宿No25 ご利用案内

【住所】東京都新宿区西新宿1-19-2 第1セイコービル 5階

【マップ】<https://goo.gl/maps/3didrw3mZpEW4ogTD7>

ふれあい貸し会議室  検索



JR新宿駅南改札からの道順



JR新宿駅南改札を出る

南改札を出たら、右に進む



甲州街道沿いに
約100m直進する

横断歩道を渡りWendy's
の方に向かい直進する



右手に「ラツモトキヨ
シ」を見ながらさらに
直進する

右手に「ヤマダデンキ
LAB新宿西口館」を見
ながら直進する

ヤマダデンキの先の交差点を
右に曲がり、「ラーメン十味
や」のビルの入口に向かう
(後ろに新宿駅出口5がある)



新宿駅出口5からの道順

出口5を出ると向かいに
当ビルがある

「十味や」の右手にある
扉からビルに入る



階段を5階まで上る

5階右手が当会議室の
入り口です

扉を開けて中に入る



前回のセミナーのまとめ

ASDの特性は「わがまま」や「努力不足」ではなく、「脳の予測の特性」から生じています。

1 Predictive Brain理論とは？

脳は、常に「次に何が起きるか」を予測し、予測と違う情報が入ると調整しています。

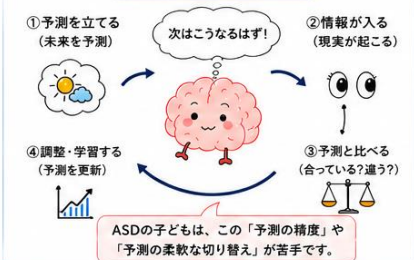
予測 → 行動 → 結果 → 学習

このサイクルをくり返して、世界を理解します。

ポイント

予測がうまくいくと安心・スムーズに行動でき、予測が外れると不安・混乱・パニックにつながります。

脳の予測のしくみ



2 ASDの特性は「予測の特性」から理解できる

言語の理解が苦手

ことばの裏にある意味や、文脈からの予測が苦手。(例) 冗談や比喩を文字通り理解してしまう

行動のこだわり

いつも同じ予測ができる環境だと安心できる。変化は大きな負担に。(例) 予定変更への強い不安・パニック

ASDの子にとって「予測できること」=「安心」につながります。

3 支援の視点：「予測できる環境」をつくる

基本 「予測できる情報」をできるだけ多く、わかりやすく提供することで、不安や混乱を減らし、学びや行動がスムーズになります。

考え方

予測できる環境づくりのポイント

- 見通しを伝える (予定・流れを示す)
- 時間の予測をサポートする
- 視覚的に伝える (絵・写真・図・文字)
- 選択肢やルールを明確にする
- 安心できるルーティンをつくる

「なぜそうするのか」を伝えることも、予測を助ける大切なサポートです。

4 具体的な支援の例

視覚的支援

スケジュール表や手順カードで「次に何が起きるか」を見える化する。

ことばの予測

一つずつ、短く、具体的に。比喩や曖昧な表現は避け、わかりやすく伝える。

変化へのサポート

予定変更は事前に知らせ、理由と新しい見通しを伝えて安心をつくる。

予測の練習・共有

「なぜそう思う?」と問ひかけ、予測の根拠を言葉にする経験を増やす。

★ ASDの子どもの行動の背景には「予測できないことへの不安」があります。予測を支えることで、安心・理解・成長につながります。

5 保護者ができる日常の支援

- 1 日常会話をミニ・セマンティックマップに 出来事を「いつ・どこで・だれが・何をした・気持ち」を一緒に整理する。
 - 2 絵本・アニメ・ドラマを予測ゲームに 「このあとどうなる?」「なぜそう思う?」と問ひかけ、文脈から予測する経験を増やす。
 - 3 新しい言葉を「場面」とセットで覚える 意味だけでなく、使う場面・人・気持ち・具体例・反対の意味まで一緒に整理する。
 - 4 ルールや約束をセマンティックマップ化 「いつ・どこで・だれが・理由・使われるルール」に分けて、意味と理由を言語化する。
 - 5 予測のズレを責めずに、一緒に調整する 子どもの予測の根拠を聞き、大人の文脈を丁寧に共有する。
- 小さな積み重ねが、予測モデルを育て、生きづらさを和らげます。

6 まとめ

- Predictive Brainは「文脈から予測する力」がカギ
- Context Blindnessがある子には「文脈と一緒に組み立てる支援」が有効
- Semantic Mapは、語彙・文脈理解・予測力を育てる強力なツール
- 形態素指導は、語彙・読解・文法のための土台になる
- 日常の中の小さな支援の積み重ねが、子どもの「わかる!」「できる!」を増やしていく

ことばの力は、未来をひらく力。一緒に、子どもたちの可能性を育てていきましょう。

前回の読み書きセミナーのまとめ

ことばの力は、未来をひらく力。一緒に、子どもたちの可能性を育てていきましょう!

1 Semantic Mapとは

- 意味を広げる「視覚的な意味地図」
- 語彙理解を深めるツール

効果

- 語彙の意味ネットワークが広がる
- 文脈理解が深まる
- 読解の土台が育つ

2 エビデンス：なぜ効果があるのか

- 1 語彙ネットワークの強化
人の脳は、言葉を単独で覚えるよりも、関連する知識と結びつけて覚える方が定着しやすいことが研究でわかっています。(Anderson & Freebody, 1981) (Stahl & Fairbanks, 1986)
 - 2 ワーキングメモリ負荷の軽減
意味を視覚的に整理しておくことで、読解中に処理する情報が減り、理解に集中しやすくなります。→ 読解力の向上につながります。
 - 3 Predictive Brain (予測する脳)を支える
脳は常に「次に何が来るか」を予測しながら読みます。語彙の意味ネットワークが豊かだと、文脈からの予測が正確になり、読解がスムーズになります。(Perfetti, 2007)
- まとめ**
- Semantic Mapは、語彙の理解を深め、読解・文脈理解・予測力を高める強力なツールです。

3 Predictive Brain × Context Blindness × Semantic Map

- 文脈から予測する力の重要性
脳は常に「次に何が起きるか」を予測しながら、文章を読んだり、会話や社会的場面を理解しています。
- 文脈への支援
ASDの特性により、文脈や場面を自動的にくみ取ることが苦手な場合、言葉を「その場の意味」ではなく「辞書的・固定的」にとらえやすくなります。
- 予測モデルを「外に出す」方法
Semantic Mapは、言葉に関する場面・人・感情・特徴・例などを「見える形」にして整理することで、脳の中の予測モデルを外に出し、一緒に作るサポートになります。

4 家庭でできる支援(例)

- ミニ・セマンティックマップにする
- 予測ゲームをする
- 新しい語を「場面」とセットで覚える
- ルールを意味づけする
- 予測のズレを言語化して調整する

出来事を「いつ・どこで・だれが・何をした・気持ち」を一緒に整理していきましょう。

絵本・アニメを見ながら「このあとどうなる?」「なぜそう思う?」と予測していきましょう。

場面・人・気持ち・具体例と一緒に覚えると定着しやすくなります。

ルールを「いつ・どこで・だれが・理由」に分けて整理しましょう。

子どもの予測の根拠を聞き、大人の文脈を丁寧に共有しましょう。

小さな積み重ねが、予測モデルを育て、文脈理解を支えます。

5 実践：「しるながすくら」のSemantic Map

関連することば

- 海・ほ乳類・くじら・大きい・ひれ・しっぽ

似ていることば・例

- くじら・イルカ・シャチ・サメ(魚類)

反対のことば・ちがう例

- アリ・ハムスター・陸にすむ動物(犬・ぞう)

自分のごぼで説明

- 世界で一番大きい動物
- 海にすむほ乳類
- 小さな生き物
- (オキアミ)を食べる

使い方(文でつかう)

しるながすくらは、世界で一番大きい動物です。しるながすくらは、海でくらしています。しるながすくらは、体が大きいので、たくさんの食べ物が必要なんです。

6 形態素指導 (Morphological Awareness)

- 形態素とは?
言葉をこれ以上分けられない最小の意味の単位。
- なぜ重要?(エビデンス)
語彙力の伸びに直結
読解力の強い予測因子
ASD・LD児に特に有効

語彙力の伸びの約60%は形態素意識の高さで説明できる。(Carliste, 2000 など)

「しるながすくら」での形態素指導(例)

しろ + ながす + くじら
白い 長い(古語の「長現」=体が長い) 鯨(海の動物)

効果

構造を理解することで、語彙・読解・書字の力が大きく伸びます。

ことばの力は、未来をひらく力。一緒に、子どもたちの可能性を育てていきましょう。